

# 富岡地域づくり 協議会だより



第17号  
平成30年12月17日  
広報委員会  
<http://www.town-tomioka.click/>

## —地域づくり協議会の部会の活動報告として—

前号に引き続き、地域づくり協議会の部会の活動報告として、富岡地区に関する情報として2題をお伝えします。

### 1.防犯に関する講演会



10月17日(水)14時より、富岡まちづくりセンターホールにて防犯に関する講演会が開催されました。富岡地域づくり協議会地域安全部会を主催に実施されたものです。

今回は、埼玉県警察防犯指導班「ひまわり」を講師に招き、詐欺の被害撲滅をめざす講演会でした。

さて、その講演の内容は、大きく分けてふたつでした。主として詐欺に関すること及びひったくりに関することです。

ここでは、前者の詐欺に関することについて報告したいと思います。

まず、『カード偽造』についてDVDが放映されました。〇〇デパートを名乗る男から「カードが不正使用されているので、新しいカードに変更しましょう。ついては、暗証番号を教えてください。」との電話があったとのこと……。家族に相談して被害を未然に防げたという内容でした。相談できる人がいたことが被害を防げた要因だとの教訓だったといえそうです。併せて、留守番電話なしは留守番機能付電話機の使用のすすめが提案されていました。



続いて、「ひまわり」のふたりで(婦人警察官)『還付金詐欺』についての劇が演じられました。善良な市民である高齢の女性に、高齢者福祉課の職員を名乗る人物から「2万7千円の還付金があります。ついては、口座に振り込むので、キャッシュカードを用意しておいてほしい。」とのことでした。

ついで、銀行員を名乗る人物から「あなたに還付金があるとの連絡を受けたので、口座番号を聞かれ、本人名義のものであることの確認をされた。

ただし、新しいキャッシュカードでないと振り込めないで、新しいカードを作る必要がある。ついては、暗証番号を教えてください。」とのことでした。後で銀行員が新しいカードを届けるという確認もあり、「どこにも出かけないように」「誰にも喋らないように」との釘のさしようだったようです。来訪した銀行員にまんまと本来使えるはずの今までのキャッシュカードを持っていかれてしまうケースのようでした。手口が巧妙になっていて、騙されやすくなってきて

おり、被害が拡大しているのです、十分な警戒が必要であるとの注意喚起がありました。本講演会の案内にもあったように、所沢市は埼玉県内でも振り込め詐欺の被害が大きいそうです。本年6月末現在で29件、約3千万円の被害になっていて、県内一だとのこと。当然誇れる数字ではなく、いかに我々の身近な防犯に対する自覚が必要であるかということであり、また、周囲への目配り・気配りや人間関係等の配慮が求められていることの証左でもあると思われます。

こうした機に、この講演会の機会を得たことは、また、たくさんの皆様に参加いただけたことは有益だったかなと思います。

結びに主催者及び参加者に重ねて感謝申し上げます。

## 2. おっぺすとみおか



地域福祉部会の構成団体のひとつである「おっぺすとみおか」は、地域福祉コミュニティ推進を図るため“見守りたい つながりたい とみおか”をスローガンに、地域のなかで安心して暮らせる街づくりを進めています。

誰でも気軽に立ち寄れる場所を地域の中につくり、情報交換ができる場にする活動を続けて10年以上になります。地域交流会と茶話会がその主な活動です。

前者は、年3回昼食をとりながら講演会を楽しみます。後者は、毎月第3水曜日10時から富岡まちづくりセンター1階ロビーで開催しています。

参加費20円で誰でも参加できますので、コーヒーを飲みにお立ち寄りください。

お待ちしております。

なお、来年4月以降の活動内容については検討中です。



### <編集後記>

霜月も早や半ばになりました。月日の流れの速さを改めて実感しています。

さて、本年は今月の現時点で、例年より気温が高いとのこと。例年だととくに北海道の平地でも降雪があるようですが、今年はまだみられていないということです。

このことが、いつもより日本列島全域が温かい証左であるという気象予報士もいました。そうはいっても、朝方の気温は徐々に下がってきていて、布団から抜け出るのが億劫なことがあります。あの温もりを失いたくないと思う自分がいるからかもしれません。

ところで、鍋が恋しい時期にもなりました。冬に向けての主な食材のひとつである大根が頭に浮かびました。鍋の具材としても適しているからかもしれません。

過日、この大根の産地として有名な神奈川県三浦について報道している番組をみました。あの「三浦大根」の作付面積が減少しているとのこと。それも一時からみて25パーセントも減っているのだそうです。土壌・風土・気象・自然等の条件が揃って「三浦大根」なのかなと思っていたのですが、条件はそれだけではなかったようです。

大根は出荷の際に手間がかかり大変なのだそうです。一本一本手で抜いて、土を水洗いして、その水を乾かして、揃えて出すとのことでした。これに代わったのがキャベツでした。畑でとって、すぐに箱詰めして、そのまま出荷できることが利点だということでした。こうした手間の問題や収入の問題等も配慮しなければならないのかと思いました。

さて、間もなく二十四節気という「小雪」になります。皆さんはこの時期に何かに思いを馳せることはないでしょうか・・・